

ダビデは伝道と宣教の理由を知っていました

I サムエル 17章 37節

ついで、ダビデは言った。「獅子や、熊の爪から私を救い出してくださいました主は、あのペリシテ人の手からも私を救い出してくださいます。」サウルはダビデに言った。「行きなさい。主があなたとともにおられるように。」

イスラエルは、神様が選ばれた民族です。神様はイスラエルを通して、すべての民族が救われることを願っておられました。それゆえ、時代ごとに福音を回復した人を用いられました。

ペリシテは、イスラエルをいつも苦しめていた国でした。戦争を起こして攻め込んで、財産を奪って人々を苦しめました。このとき、神様はサムエルとダビデを呼ばれました。霊的な目が暗くなって契約をのがした人々の中で、幼いサムエルを通して契約を回復してくださいました。やがてこの契約のバトンは、ダビデに渡ります。ダビデは、主の霊が激しく下ったのち、彼が行く所すべてに神様が生きておられることが現れ始めました (I サムエル 16:13)。ダビデが賛美するとき、サウル王についていた悪い霊が離れ、ゴリヤテを倒すことによって、ペリシテ軍が主の御名を恐れるようになりました。

明らかなことは、レムナントには異なる理由があるということです。神様は、ペリシテのような強い国を通して全世界に福音を伝えようとされました。ダビデのように神様から与えられた異なる理由を知ったレムナントが、普段に神様とともにいる奥義を味わうとき、神様が事をなさるでしょう。

きょうのみことば



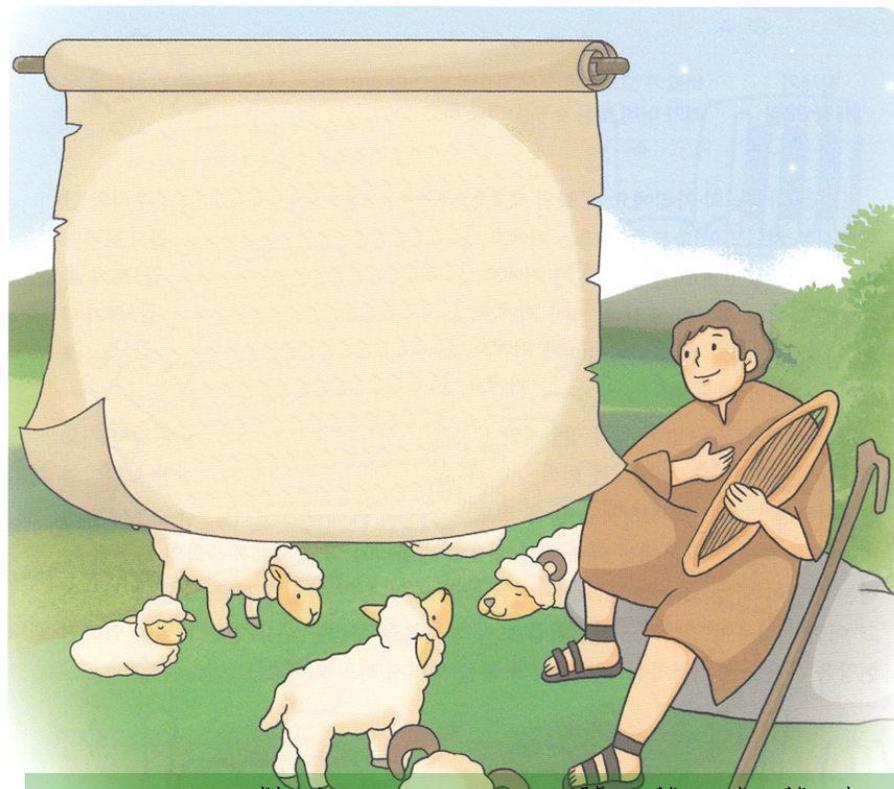
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。伝道と宣教の理由を知っていたダビデのように、すべての問題を土谷にして、伝道運動の祝福を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

普段から霊的な力を持っていたダビデがゴリヤテの前で神様の御名を高めました。みことばを書いて、ダビデの信仰にならうように、祈りましょう。



ダビデはペリシテ人に言った。「おまえは、剣と、槍と、投げ槍を持って、私に向かって来るが、私は、おまえがなぶったイスラエルの戦陣の神、万軍の主の御名によって、おまえに立ち向かうのだ。(I サムエル 17:45)

きょうのでんどう

会う人

準備する資料

ヨセフが味わった御座の祝福

創世記 41章38節 そこでパロは家臣たちに言った。「神の霊の宿っているこのような人を、ほかに見つけることができようか。」

御座は神様がおられるところです。御座の祝福を味わえば、今も生きて私たちとともにおられる神様の祝福を味わうことができます。ヨセフの兄たちとヨセフは、お父さんのヤコブから福音を伝えてもらって味わう、信仰の家庭でした。しかしヨセフの兄たちは、ねたみとしつとが、福音より先んじる肉的な祝福を味わっていました。そのような兄たちのために、ヨセフは死の危機によって、奴隷生活、監獄生活まですることになったのですが、結局は、王の夢を解き明かす答えを受けて、国を治める総理になりました。

レムナントのヨセフには多くのことがありましたが、御座の祝福を味わいました。ヨセフは一人で祈りと礼拝を味わいました。お母さんを早く亡くした良くない環境でした。しかし、ポティファルの家でも、畑の野菜まで祝福されるほど祈りと礼拝を味わいました。監獄では、政治宣教をして、王宮でパロ王をいやして総理になり、世界福音化の祝福を味わう証人になりました。いまレムナントは、どんな状況にいますか。家庭と学校、教会と世の中でどんな苦しみがあっても、ヨセフのように御座の祝福を味わう力を受ける奥義があるならば、現場を福音で征服する巡礼者の祝福を味わうようになるでしょう。



きょうのみことば



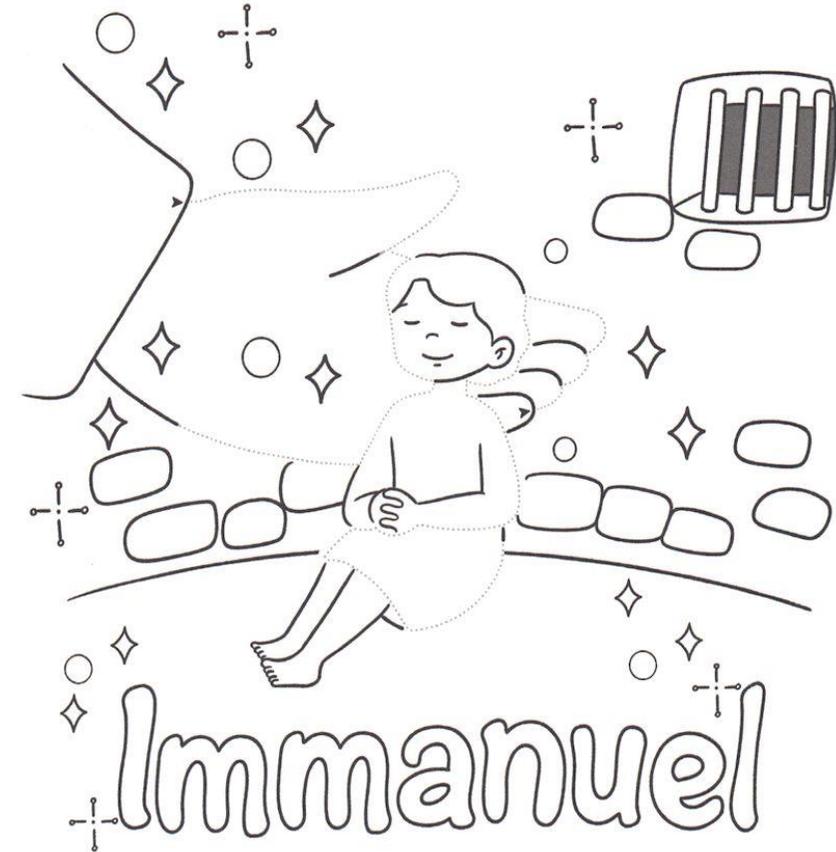
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。どんな問題の中でも、御座の祝福を味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

ヨセフは、いつでも神様とともにいる事実を忘れませんでした。そのことをいつも覚えていました。ヨセフの絵を完成させて私もヨセフのように契約を覚えるようにしましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんば 準備する資料

巡礼者の道を行くレムナント

ダニエル 12章3節

思慮深い人々は天空の輝きのように輝き、多くの者を義とした者は、世々限りなく、星のようになる。

バビロンという大きな国の捕虜として連れて行かれたダニエルが、神様から与えられた知恵、知識、思慮深さを認められて、王を助けて国を治めることになりました。そのようなダニエルをねたましく思った臣下が、ダニエルを殺そうと悪い計画をたてました。そのとき、ダニエルがしたことがあります。あらかじめダニエルは神様の前で心を定めていました。どんな危機と苦しみが来ても、バビロンが仕える偶像をおがまず、神様だけに仕えろと心を定めていました。そして、いつものように窓を開けてエルサレムに向かって祈りました。神様の契約を覚えて揺れませんでした。そのことで、ダニエルは獅子の穴に投げこまれましたが、神様は穴の中の獅子の口をふさぎ、夜通しダニエルを安全に守ってくださいました。

レムナントは、どんな道を歩んでいますか。ダニエルの道のように、巡礼者の道を行くことを忘れてはいけません。巡礼者の道は、一人で行く道ではありません。今も生きてともにおられる神様を味わう道です。レムナントが心を定めて祈るとき、神様は天空の輝きのように輝かせてくださり、星のように世々かぎりなく光る伝道者の祝福を味わわせてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。どんな状況になっても、ダニエルのように、契約の中で心を定めて、世界福音化に向かっていく巡礼者として立ちますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



イスラエルに預言された神様のみことばを握ったダニエルと三人の青年が、バビロンの捕虜として連れて行かれました。どんな希望を心に抱いていたでしょうか。道をたどりながら考えてみましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

レムナントが知るべき まことの礼拝

ローマ 12章1節

そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きてきた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。

まことの礼拝は何でしょうか。人は霊的存在なので、誰に教えてもらわなくても、神様を求める心の飢え渇きがあります。それゆえ、宗教と偶像のようなことを通して、多くの人々が影響を受けています。どのようにすれば、偶像崇拝でない、まことの礼拝の祝福を味わうことができるのでしょうか。

まず、私たちは福音を知らなければなりません。福音は、神様が私たちにくださった良い知らせです。イエス様をキリストとしてこの地に送ってくださり、神様を離れてわざわいと地獄の背景の下、サタンの奴隷になって生きる人々に神様に会う道を開いて、すべての罪と死から解放されて、悪魔に勝つ祝福を味わうことができるようにしてくださいました。この事実を信じて、イエス・キリストをわたしの心に受け入れれば、神の子どもとしての身分と権威が与えられます。この祝福を味わう人だけがまことの礼拝をささげることができます。

今日、契約を握ったまことの礼拝の祝福を味わえば、霊的戦いで勝利するでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神の子どもとしての身分と権威を味わう、まことの礼拝の祝福を味わいますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



今月のなやみを見ましょう

なやんで
います



パク・ウヨン 牧師夫人
わたし、なやんでいます

神様はどれくらい
偉大な方なのですか

神様がどれくらい偉大なのかをすべて知っている人はいません。ただ神様であり、人として来られたイエス様だけが神様を正しく知らせてくださいます。イザヤ40章12節を見れば「だが、手のひらで水を量り、手の幅で天を推し量り、地のちりを枳に盛り、山をてんびんで量り、丘をはかりで量ったのか。」と言われています。神様は地をおおう天蓋の上に住まれる創造主です（イザヤ40:22）。万象を数えて呼び出し、一つ一つ、その名をもって、呼ばれ、精力に満ち、その力は強い方です（イザヤ40:26）全世界を、手おけの一しずく、はかりの上のごみのようにみなされる方です（イザヤ40:15）。また、人を御手によって、偉大にされ、力づけられます（I 歴代29:12）。山や丘を荒らし、そのすべての青草を枯らし、川をかわいた地とし、沢をからすことができる方です（イザヤ42:15）。海の中に道を、激しく流れる水の中に通り道を設ける方です（イザヤ43:16~17、出14:21~28）。このように、とてつもないことをされますが、疲れることもなく知恵が足りないこともない力の神様です（イザヤ40:28）。

どんなに言葉で説明してもすべて説明することはできないこの神様が、私たちの、そして私のお父さんなので、本当に感謝でしょう。ですから、永遠に主をほめたたえる伝道者として生きていきましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

レムナントとヨルダン運動

ヨシュア 3章 1～6節

民に命じて言った。「あなたがたは、あなたがたの神、主の契約の箱を見、レビ人の祭司たちが、それをかついでいるのを見たなら、あなたがたのいる所を発って、そのうしろを進まなければならない。(3)

神様はイスラエルの民に、ヨルダン川を渡らせました。次世代がエジプトに勝った力、荒野を超えた征服の力を持つようになるためです。ところが、このヨルダン川を渡るには三つに従っていかねばなりません。それは、为什么呢。

まず、ただキリストの契約です。神様が願われる計画に方向を合わせて感謝して行けば良いのです。これが残りの者の祈りです。2つ目は、祈りの流れです。これに従って行くとき、私に与えられる唯一性の答えを発見します。一日中、見て、聞いて、話して、考えて、息をするすべてを祈りにつなげましょう。これが巡礼者の祈りです。3つ目は、現場の流れです。神様のみことばが私のいる所で成就して、暗やみが崩れます。これが征服者の祈りです。このとき、再創造の答えが見えます。

レムナントは、今日、残りのもの、巡礼者、征服者の祈りに挑戦してみましょう。神様は大人たちの水準、基準、標準を越えて、世界福音化する主役として私を用いてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。今日も契約と祈りと現場の流れに従って行く、世界福音化の主役になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちがいを
みつけよう

新しい始まりを前にして私がすべきことは、神様に質問して、与えられたみことばに従って行くことです。2つの絵のちがいをみつけて、神様に私の信仰を告白しましょう。



ちがい7つ



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

I 歴代

29章 10～14節

ダビデは全集團の目の前で主をほめたたえた。ダビデは言った。「私たちの父イスラエルの神、主よ。あなたはとこしえからとこしえまでほむべきかな。主よ。偉大さと力と栄えと栄光と尊厳とはあなたのものです。天にあるもの地にあるものはみなそうです。主よ。王国もあなたのものです。あなたはすべてのものの上に、かしらとしてあがむべき方です。

ダビデは神様のみこころを発見する残りの者、24時神様を見上げる巡礼者の祈りを味わう人でした。そして、征服者の祈りでサタンと暗やみをひざまずかせました。

ダビデは神殿建築の奥義を持っていました。神様を礼拝する神殿を建てるのが最高の霊的戦争であることを知っていたのです。サムエルを通して契約の箱の歴史を伝えてもらったダビデは、ダビデの町を作って、一番最初に契約の箱を運びました。このとき、うれしくて踊りを踊りました。また、神殿が次世代のための戦争であることを知っていました。それゆえ息子であるソロモン王が、神殿を作って残りの者、巡礼者、征服者の祈りを味わうように、完ぺきに準備しました。

今日、レムナントがこの事実を知って、まことの神殿の契約を回復するとき、神様は教会をたてる働きに用いてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。ダビデのように、神殿建築の契約を握って、残りの者、巡礼者、征服者の祈りを味わいますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ちがいを
みつげよう

永遠の神の国の希望を持った人が集まるところが教会です。教会はこの世でどんな役割をすることでしょか。下の2つの絵のちがいをみつけながら、神様に質問しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料